

2023 年 7 月 7 日

通貨ニュース

新興国：外需下押しへの警戒感が一段と高まる

S&P Global 社が集計するグローバル購買担当者指数(PMI)によれば、6 月製造業 PMI は 48.8 と 5 月 (49.6) から低下、年初来で最低水準を更新した。23 年に入って以降、49 台でおおむね横ばいでの推移が続けていたが、6 月には明確に水準を切り下げた。10 か月連続で中立水準(=50)を割り込んでおり、製造業の景況感は軟調だ。先進国(47.6→46.3)は新規受注や生産指数を中心に低下。片や、新興国(51.4→51.1)は生産指数の低下が響き小幅に悪化も、5 か月連続で中立水準超えを維持した(図表 1、2)。また、グローバル非製造業 PMI(55.5→54.0)は 7 か月ぶりに低下。先進国(54.9→53.6)、新興国(56.7→54.7)いずれも前月から低下した。

これらを合わせたコンポジット PMI は 52.7 と前月(54.4)から 7 か月ぶりに低下も、5 か月連続で中立水準超えを維持した。世界経済の実質 GDP 成長率は 2022 年 10～12 月期は小幅なプラス成長にとどまった(図表 3)。PMI の推移を確認する限り、23 年 1～3 月期および 4～6 月期には、成長幅を拡大させているものと考えたい。

6 月製造業 PMI の特徴は、前月に続き先進国と新興国のコントラストだろう。両地域の製造業 PMI の差異(先進国-新興国)は、6 月に▲4.8 と 20 年 5 月以来約 3 年ぶりの水準を更新した。要因としては、先進国において予想よりも利上げが長引きそうな半面、新興国では明確に利上げサイクルを終了させている国が目立つ、といったことが指摘できる。先行きに関しても、低調な中国景気が底入れに向かうようであれば、さらに新興国の景況感押し上げを期待できそう。

製造業 PMI の構成指数別には、先進国の入荷遅延指数が 14 か月ぶりに低下に転じた(図表 4)。依然高水準だが、サプライチェーン改善には一服感がある。新興国に関しても頭打ち感もあり、先進国の結果を踏まえても上昇余地は少ないと推察される。また、利上げによる外需下押しの警戒により、貿易活動は軟調推移が続けている。先進国の新規輸出受注指数は 14 か月連続で中立水準割れを記録し、新興国に関しても 3 か月ぶりに低下するなど軟調だ(図表 5)。需要見通しの低迷を反映してか、在庫関連指数も頭打ちの様相を示す(図表 6)。特に、先進国の在庫取り崩しが顕著だ。他方、生産見通しは先進国、新興国いずれも低下も、過去と比べれば高水準だ。中期的な生産見通しが底堅い以上、過度な在庫の取り崩しには至らないものと考えたい(図表 7)。

個別の新興国では、タイ製造業 PMI の急低下が目につく(図表 15)。6 月には 53.2 と 5 月(58.2)から大きく低下し、3 か月ぶりの水準に回帰した。項目別に確認すると新規受注の下押しが大きく、サブ指数の新規輸出受注が上昇したことも考慮に入れて考えれば、外需というよりも内需の先行きへの自信の無さが現れた結果といえるだろう。とはいえ、製造業 PMI の水準自体は 21 か月連続で中立水準超えを記録しており、水準は決して悪くはない点にも留意が必要だ。

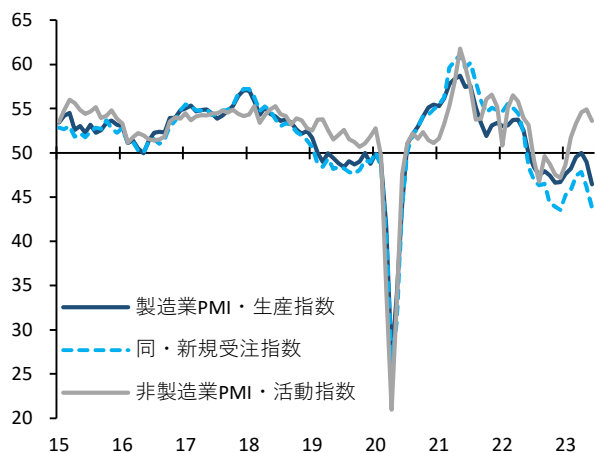
市場営業部

長谷川 久悟

03-3242-7065

kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

図表 1: 先進国



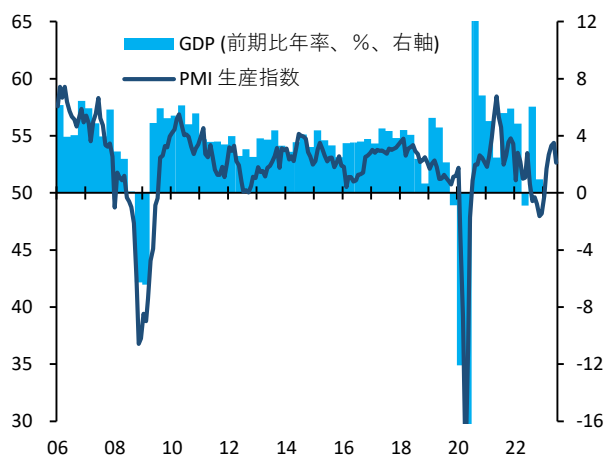
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 2: 新興国



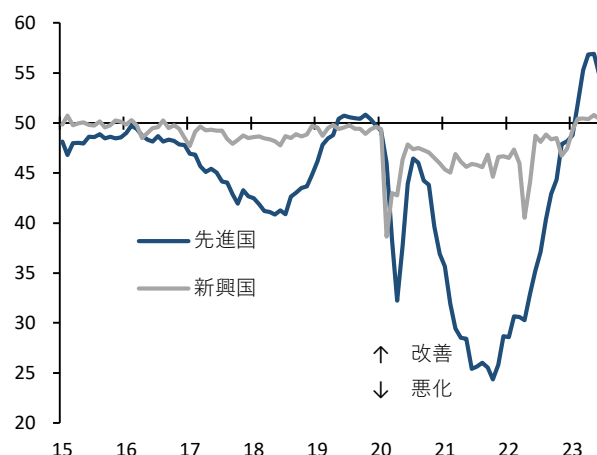
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 3: グローバルのコンポジット PMI と GDP 成長率



出所: S&P Global、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 4: 製造業 PMI・入荷遅延指数



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 5: 製造業 PMI・新規輸出受注指数



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 6: 製造業 PMI・在庫関連指数



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 7: 製造業 PMI・生産見通し指数



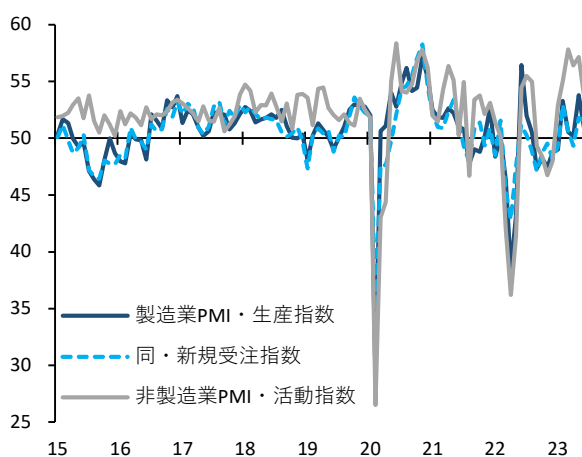
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 8: 非製造業 PMI・活動見通し指数



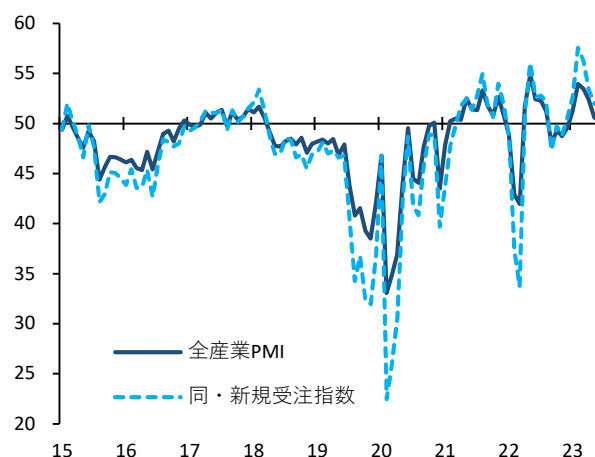
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 9: 中国



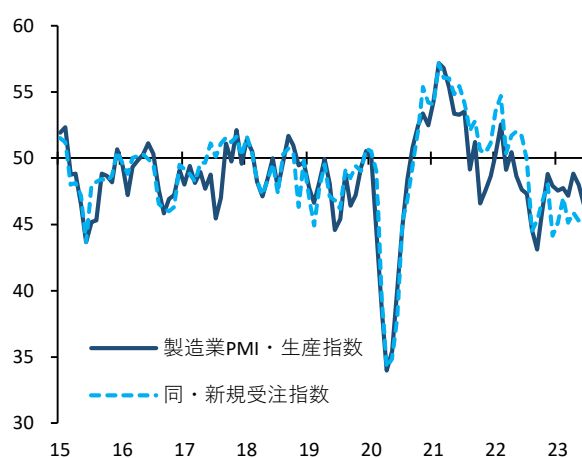
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 10: 香港



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 11: 韓国



出所: S&P Global、みずほ銀行

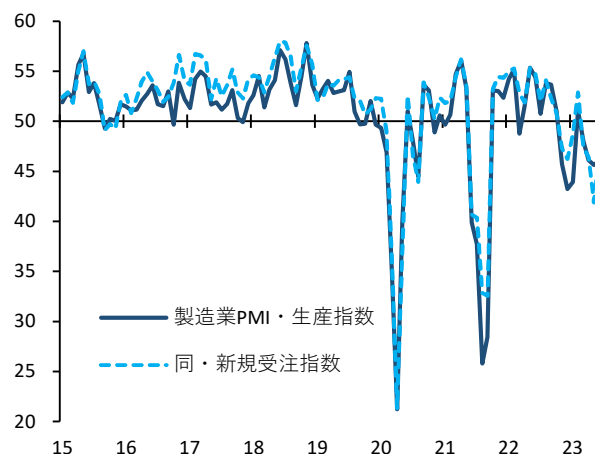
図表 12: 台湾



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 13: フィリピン

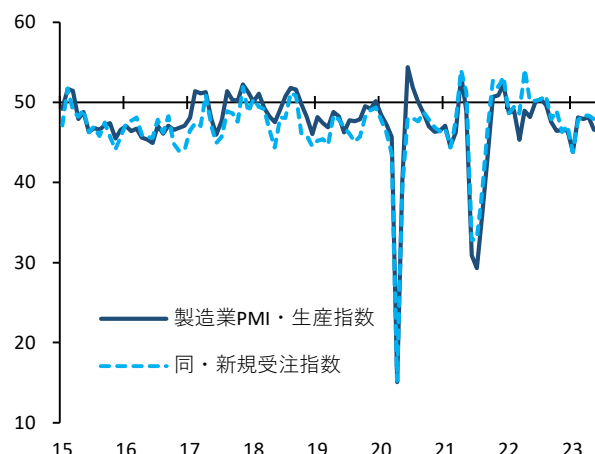

出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 14: ベトナム


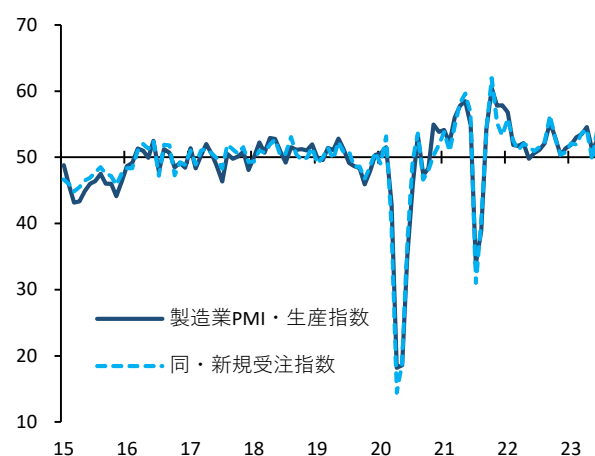
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 15: タイ

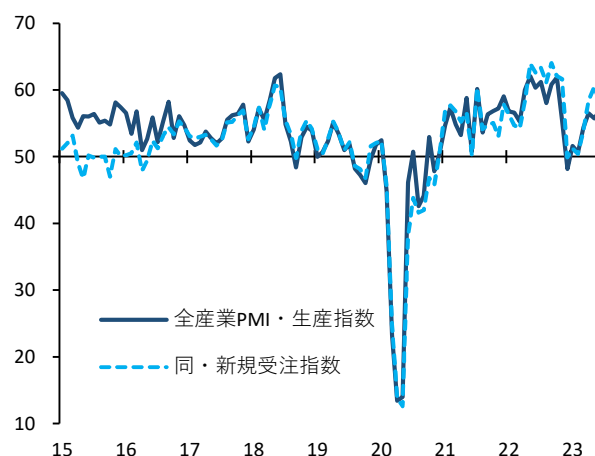

出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 16: マレーシア


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 17: インドネシア


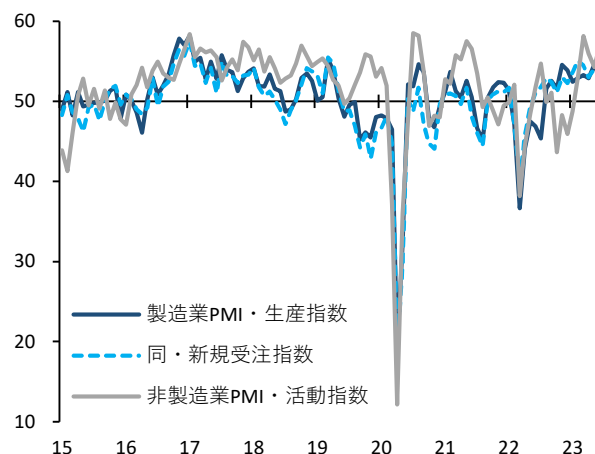
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 18: シンガポール


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 19: インド

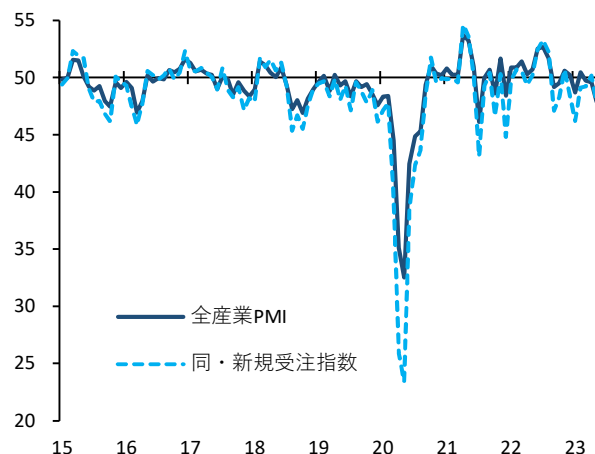

出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 20: ロシア


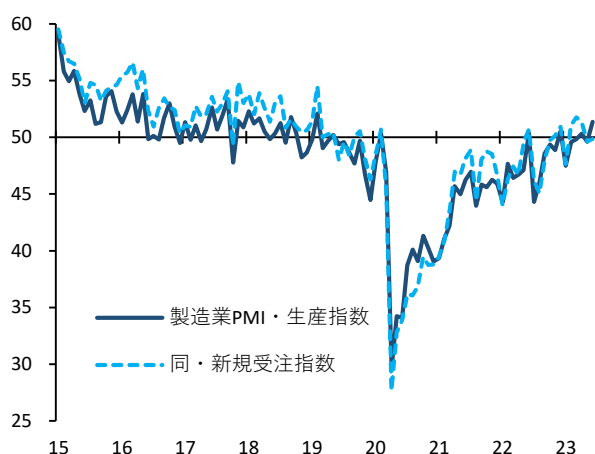
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 21: トルコ


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 22: 南アフリカ


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 23: メキシコ


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 24: ブラジル


出所: S&P Global、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。